資料

福島市一般廃棄物新最終処分場候補地の選定フロー

情報公開
地元説明等

専門家会議

資料・情報の収集・整理

【福島市候補地選定基本方針】
①自然災害等の影響を受けにくい場所
②自然環境保全や史跡・名勝等の保護に影響を及ぼさない場所
③生活環境への影響に配慮した場所
④水源（水道・農業等）への影響に配慮した場所
⑤建設運営コストへの配慮
⑥情報公開を原則とする

第１回専門家会議
（平成25年10月1日開催）

候補地選定基本方針の決定

除外すべき区域の決定
評価項目基準指標の決定

【法令規制等により除外すべき区域】
①自然災害等の影響
防災区域及び指定地、地すべり危険及び防止区域、土石流危険区域及び危険渓流、急傾斜地崩壊危険区域、土砂災害警戒及び特別警戒区域、火山砂防区域、宅地造成工事規制区域、河川区域
②自然環境保全や史跡・名勝等の保護
国立公園、自然環境保全地域、鳥獣保護区特別保護地区、保護林、史跡・名勝・天然記念物等、国有林、保安林
③生活環境への影響
市街化区域、風致地区、都市施設（都決をした施設・区域）、都市公園・緑地、農用地区域

福島市
ホームページ

市政だより

福島市一般廃棄物新最終処分場整備基本構想策定業務

新最終処分場候補地選定

新最終処分場整備基本構想

福島市一般廃棄物処理基本計画

ごみ処理の現状と課題・分析
①資料・情報の収集・整理
②候補地抽出条件の整理
・概算埋立処分量及び施設規模等の算定
・地形的条件
・地域的条件

第2回専門家会議
（平成26年2月20日開催）

候補地抽出条件の決定

一次評価の確認

福島市
ホームページ

最終処分廃棄物の推定
処分場規模等の設定
①将来推計の方法
②推計結果に基づく埋立処分量、施設規模算出
③震災による影響区分の整理、分析
④震災による影響要因の抽出、整理
⑤実績値の補正、震災影響を踏まえたトレンド推計、補正
⑥トレンド推計補正に基づいた最終処分量施設規模算出

候補地の図上抽出
（十数箇所程度）

除外区域を除いた土地から候補地抽出条件に合致した候補地を抽出

一次選定案

抽出された候補地から一次評価により図上で一次選定案を絞り込む

【一次評価】
①自然災害等への影響
活断層・推定活断層近接地域
洪水浸水への影響
②生活環境への影響
周辺集落、住宅、公共施設の立地状況
③水源への影響
水道水源、農業への影響
④建設運営コストへの配慮
既設道路及び林道へのアクセス性、運搬距離、放流先の水路・河川の有無

１次選定（図上）
（6～7箇所程度へ絞込み）

第3回専門家会議
（平成26年3月28日予定）

二次評価の確認

福島市
ホームページ

各候補地
地元代表者
説明会

現地踏査の了解

現　地　踏　査
（6～7箇所程度）

市政だより

２次選定
（3箇所程度へ絞込み）

【二次評価】
①自然災害等への影響
地形勾配
②自然環境保全への影響
周辺土地状況（自然）
③生活環境への影響
景観の変化、周辺土地状況（生活）
車両通行等による影響
④水源への影響
利水の影響、放流先の水路・河川の状況
⑤建設運営コストへの影響
候補地土地利用、施設立地への障害の有無、造成規模の確保、アクセス道路等、ライフラインの確保
⑥地元代表者説明会の結果

第4回専門家会議
（平成26年7月～8月予定）

最終総合評価の確認
（評価方法の補正）

福島市
ホームページ

各候補地
地元説明会

現地踏査の了解

市政だより

現地踏査（コンサルタント実施）
施設配置平面図、断面図の作成

※赤文字についての詳細は
今後の検討による。

＋　現地調査

最終総合評価に伴う考察（３箇所）
①概略地形・地質調査
②概略環境影響調査
③施設構想案作成
概略図、概算工事費、概算維持管理費等

現　地　踏　査
（3箇所程度・専門家会議委員同行）

第5回専門家会議
（平成27年1月～2月予定）

最終候補地選定

【最終総合評価】
①自然災害、自然環境、生活環境、水源
環境影響、地形、地質、地下水
②建設運営コスト
概算工事費
③現地調査による候補地評価
④地元説明会の結果
【評価方法の補正】

最終候補地における
新最終処分場整備基本構想
①概略地形・地質調査考察
②概略環境影響調査考察
③環境保全構想検討
④新最終処分場基本構想
クローズド型とオープン型の比較、施設配置、段階的整備構想、遮水工、貯留構造物、浸出水処理、その他施設、事業スケジュール　等
⑤概算事業費の算定
⑥事業運営主体の検討（事例）

福島市
ホームページ

第6回専門家会議
（平成27年2月～3月予定）

福島市一般廃棄物新最終処分場整備基本構想提言

福島市
ホームページ

最終候補地
地元説明会

地元合意形成

福島市
ホームページ

市政だより